

2020年度事業報告

1. 公益目的事業

(1) 国際相互理解のための体験活動及び普及啓発事業

■国際理解講座 Global Understanding、〈活動舎〉沖縄フィールドワーク

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

■CENA (Civil Society Education Network in Asia) 夏期学校 Web スクール(共催)

アジア各国の情勢や社会問題を討議し、武力によらない平和構築に向けて学生が学び合うプログラム。香港の情勢と各政府の新型コロナウイルス感染症対策についてプレゼンテーションと討論が繰り広げられた。

参加人数：11ヶ国から約70名

期 間：9月25日～26日

参加団体：恵泉女学園大学、聖心女子大学、韓国・聖公会大学校、韓国・韓信大学校、台湾・世新大学、タイ・Asia Muslim Action Network、インドネシア・イスラーム大学、パキスタン・CWSA、早稲田奉仕園

■日中大学生による相互交流ワークショップ

中国延辺大学との来日・訪中プログラムとも新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

■韓国ハンバット大学日本インターン研修

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

■年中行事を楽しむ会 Feel Japan

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

■韓国の人々に学ぶスタディーツアー2020

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

(2) 国際相互理解を基調としたボランティア活動推進事業

■日本語ボランティアの会

対面クラスは中止としたが、ボランティアがミーティングにて様々に検討を重ねていた。通常年2回発行の会報も、1回発行することができた。

運営係ミーティング：4回オンラインで開催

月例会：対面とZoomを組み合わせ7回

総会：8月にメールにて開催

■野宿者支援給食活動(共催)

参加者数：ボランティアは準備にのべ179人、配食に278人が参加した。

活動実績：のべ5,173食を準備し、3,462人の方にお渡しした(新型コロナ以前に比べてのべ1,100人増)

協力：保存食は学校の備蓄(聖望学園中学校・高等学校、玉川聖学院中等部・高等部、青山学院、立教大学、清泉女子大学)、企業の備蓄を分配するNPO法人セカンドハーベスト・ジャパンなどの団体のほか、個人でもご支援をいただいた。

■災害被災者支援ボランティア活動

東日本大震災10年を憶えるプロジェクトとして、岩手県大槌浪板地区での支援活動をまとめたスライドショーと絵本「かぜのでんわ」の朗読を配信した。朗読講座の飯島晶子先生及び受講生に朗読のご協力参加をいただいた。配信視聴に合わせて浪板地区から首都圏に進学してきている若者に対する支援募金を呼びかけ、25名より27万円の寄付をいただいた。2021年度に寄付金の贈呈を行う予定である。

(3) 国際相互理解のための語学講座及びその他講座事業

■アジア語講座

1973年創設のアジア語講座を母体として、はじめて文化や言語に触れる方対象のオンライン土曜集中講座を開講した。

期間：前期6月6日～7月4日 毎週土曜日全5回

後期11月7日～12月5日

受講者数：前期 ベンガル語4名、ヒンディー語1名、ベトナム語1名

後期 ベンガル語1名、ヒンディー語2名、ベトナム語1名

講 師：スルタナムンシ(ベンガル語)、町田和彦(ヒンディー語)、トーホアン(ベトナム語)

■日本語ボランティア養成講座

対面での授業になることから新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

■Let' s 朗読

前期は開講日を遅らせたが、講師と受講生の協力により円滑にオンラインで開講することができた。

期 間：前期(全6回)9名 後期(全8回)8名 1回120分

講 師：飯島晶子(朗読家・「VoiceK」主宰)

成果・結果：講師の協力で対面クラスをZoomオンラインクラスに変更して開講した。また奉仕園のプロジェクトに参加することで、朗読講座で学んだことを発表する良い機会となった。

■スコットホールでゴスペルを歌おう

コロナ感染症の影響で中止となったシーズンがあったが、10回目を迎えたクリスマス発表会は、無観客、昼間の時間帯で1時間程度にプログラムを短縮し開催できた。継続していた養護老人ホームなどの訪問の機会がなくなり、残念だった。

期 間：シーズン1(4月～6月)中止

シーズン2(7月～9月)11名、スポット参加1名で開講

シーズン3(10月～12月)6名、スポット参加3名で開講

シーズン4(1月～3月)中止

講 師：藤子(プロシンガー)

■パイプオルガン・アカデミー

4～5月は休止、6月から再開し、延べレッスン回数は46回となった。

受講者数：7名

内 容：プロのオルガニストによる個人レッスン

講 師：水野均(桐朋学園大学講師、早稲田教会オルガニスト)

協 力：早稲田教会

■STUDY HALL!

新型コロナウイルス感染症拡大のため実施なし。

■企画展「祈りの人 渡辺禎雄型染版画展～齋藤治子コレクション～Vol. 2、3」

聖書を題材にした作品を多く残した渡辺禎雄氏の作品展。

会 場：スコットホールギャラリー

期 間：Vol. 2 6月20日～28日、Vol. 3 10月24日～11月1日

来場者：Vol. 2 約80名 Vol. 3 約50名

■聖書講座－新しい聖書の学び『マルコ福音書をジックリ読む(Part2)』（共催）

2019年度の継続で「マルコ福音書」を丁寧に読み進めた。コロナの影響により、開講を9月に繰り下げ、Zoomによる講座へ変更した。録画視聴もできるようにしたため、国内外各地からの受講者が飛躍的に増え、講座の新たな可能性が示された。

受 講 者 数：81名

期 間：通年毎月第2火曜日全10回

講 師：山口里子(日本フェミニスト神学宣教センター共同ディレクター)

共 催：日本クリスチャンアカデミー関東活動センター

■聖書講座－上林順一郎牧師と一緒に聖書を読もう－この時代の中で聖書からメッセージを読み解く(共催)

聖書の魅力、面白さ、そして感動を味わう。本年度は第2期として創世記1章を学んだ。コロナの影響により、開講を9月に繰り下げ、来場参加者数を制限するほかZoomを併用する講座へ変更した。録画視聴もできるようにしたため、国内外各地からの受講者が増えた。

受 講 者 数：23名

講 師：上林順一郎(元早稲田教会牧師)

共 催：日本クリスチャンアカデミー関東活動センター

(4) 学寮運営事業 (友愛学舎・ゲストハウス)

■友愛学舎

舎生数：2020年度は4年生2名(男子1名、女子1名)、3年生3名(男子1名、女子2名)、2年生3名(男子2名、女子1名)の在寮生に加え、新1年生1名を迎えた。諸事情により1名が退舎した。

活 動：朝 の 会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、前期はZoomを用いながら週1回、10月より聖書研究(マルコによる福音書、マタイによる福音書)及び学生発表等を行った。朝食は前期は中止、10月より感染防止対策を講

じて提供を再開した。

舎生会 友愛活動・生活について話し合った。

年間活動 4月の活動開始に向け、新入生を含めたオリエンテーションを3月22日から23日まで、秩父にて実施し、寮生活の意義や奉仕園や友愛学舎の歴史を学ぶ機会を持った。

協力：奥山京音伝道師(早稲田教会)にカウンセラーとして、古賀博牧師、大矢直人牧師、中澤重光宣教師ほかに聖書研究等寮運営全般のアドバイザーとして奉仕いただいた。

■キリスト教学生寮懇談会

都内及び近郊のキリスト教主義による超教派の学生寮のネットワーク。会合を開催できなかったが、友愛学舎を含む9学寮(信愛学舎、山手学舎、山上学寮、東京ティラナスホール、登戸学寮、春風学寮、東大YMCA寮、一橋YMCA寮)の担当者間で、随時連絡を取った。

■ゲストハウス

大学学部生・大学院生のための寮。長期休暇で一時帰国後に再入国できず、2名が本人不在のまま退寮に至った。11月より1名が入寮した。

(5) 早稲田大学との協力による学寮運営事業(国際友愛学舎)

■国際学舎

早稲田大学の外国人留学生・研究員寮。2020年3月半ばから新型コロナウイルスの感染拡大のため42名が早期退寮を余儀なくされた。うち19名は長期休暇で一時帰国後に再入国できず、本人不在のまま退寮に至った。コロナ禍の中、従来よりもさらに早大レジデンスセンターとの情報共有に努め、対応にあたった。また、レジデントアシスタント(RA)コミュニティールームは、新型コロナウイルスの感染防止を考慮し、閉鎖した。

2020年度国・地域別居住者数(合計88名、20の国と地域 RA含む)

中国	16	日本	12	アメリカ	10	イギリス	7
フランス	7	スペイン	6	ドイツ	5	韓国	5
香港	3	フィンランド	3	スイス	3	カナダ	2
イタリア	2	アイルランド	1	オランダ	1	スウェーデン	1
タイ	1	ルーマニア	1	ポーランド	1	セルビア	1

■留学生健康相談室

コロナのため 2020 年 4 月より閉室。カウンセラーの先生方とオンライン相談の準備を行った。

■ウェルカムパーティー

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

■奉仕園クリスマス会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。友愛学舎は舎生とOBOG有志による Zoom クリスマス会を開催した。

■Cooking Exchange Program

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

■ホームビジット

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

■第 3 回留学生インスタ写真展

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

2. 収益事業

(1) 駐車場及び貸事務所等の賃貸並びに管理受託事業

■不動産賃貸事業

月極駐車場及び事務所の賃貸、宣教師館・牧師館、教会への施設貸出し。月極駐車場は 8 台分増設したが、通年満車の契約をいただいている。

(2) 会議施設及びホール施設の貸与事業

■施設の貸与(会議室・ホール)

- ・ 緊急事態宣言の発令により 4 月 7 日より 5 月 6 日まで閉館、延長により 5 月 7 日より 5

月 31 日まで閉館とした。6 月 1 日より 5 日までは会議室のみ運営、6 日以降は全館開館した。1 月 7 日の緊急事態宣言の発令により 3 月 31 日まで 18 時閉館措置を実施。

- ・ お客様のご利用内容は、会議室・ホールは学習会、語学教室、音楽練習やコンサート、講演会など多岐に渡っている。特に早稲田大学生と高齢者層の利用が顕著である。逆に 30～50 代のミドル世代の利用が少ない。ギャラリーはセレモニーなどさまざまな利用に対応できるオープンスペースとしての案内を心掛けた。
- ・ 2020 年度はスチール 49 件、動画 30 件、計 79 件。(2019 年度はスチール 33 件、動画 14 件、計 47 件)
- ・ スチールは 57%がファッション雑誌・カタログ関係、動画は媒体の約 66%がドラマおよび再現Vで、ミュージックビデオでも多くの利用があった。

■施設・備品

100、101、102 に大型ディスプレイを設置した。Zoom などリモート会議やプレゼンテーションの際に役立っている。

■セミナーハウスプログラム

スコットホール公開&ガイドツアーは 10 月 31 日に開催、来場者は約 120 名、ガイドツアーは本年より事前申込制とした。

3. 公益目的事業・収益事業共通業務

■広告・宣伝

ホームページ、SNS 等による情報発信のほか、撮影利用や貸会議室等専門の検索サイトの利用を進め、セミナーハウス営業促進に役立てている。

4. 記念事業

ベニンホフ記念館(5号館)竣工・セミナーハウス開設 50 周年及びスコットホール献堂 100 周年記念として 2020 年度は次の事業を実施、あわせて募金をおこなった。「早稲田奉仕園のルーツを訪ねる旅」はコロナの影響により中止とした。

■第3回パイプオルガンコンサート

10月11日に早稲田教会との共催プログラムとして、第3回となる公演を実施した。当日の公演を収録し、後日YouTubeによる有料配信をおこなった。

出演：水野均氏(早稲田教会オルガニスト)、今井奈緒子氏(霊南坂教会オルガニスト)

来場者：約84名

視聴者数：7名

■シンポジウム「若き日の出会い 杉原千畝と早稲田奉仕園～創設者ベニンホフ宣教師と1920年前後の青年たち～」

スコットホール献堂100周年記念として信交協会に参加した青年とベニンホフ博士を検証するシンポジウムを開催した。当日のシンポジウムは収録し、後日YouTubeによる有料配信をおこなった。

日時：2020年10月25日

登壇：ファシリテーター植村隆氏

講演：岩村太郎氏(恵泉女学園大学)、徐正敏氏(明治学院大学)、
原真由美氏(関東学院大学)

来場者：約50名

視聴者数：10名

■記念募金

2019年8月より2022年7月まで募金実施。2020年度はのべ個人73、団体4件の計1,321,000円の寄付をいただいた。2020年度末累計額は2,513,500円である。

5. 法人総務

■財団会議

①理事会

第1回定時理事会(6月5日)

第1号議案 2019年度事業報告及び計算書類承認の件

第2号議案 寄付金の配賦に関する件

第3号議案 新型コロナウイルス関連の対応に関する件

第4号議案 5号館大規模修繕計画の一部中止に関する件

- 第 5 号議案 テレワーク規程に関する件
- 第 6 号議案 専務理事報酬に関する件
- 第 7 号議案 2020 年度定時評議員会の開催に関する件

第 2 回定時理事会(3 月 9 日)

- 第 1 号議案 2021 年度事業計画及び予算に関する件
- 第 2 号議案 5 号館(ベニンホフ記念館)改修に関する件
- 第 3 号議案 会計処理の修正に関する件
- 第 4 号議案 日本バプテスト同盟の施設使用料金に関する件
- 第 5 号議案 外部監査の変更に関する件

臨時理事会(12 月 3 日)

- 第 1 号議案 借入れ実施の件
- 第 2 号議案 2020 年度臨時評議員会開催の件

②評議員会

定時評議員会(6 月 22 日)

- 第 1 号議案 2019 年度事業報告及び計算書類承認の件
- 第 2 号議案 新型コロナウイルス関連の対応に関する件
- 第 3 号議案 評議員人事の件
- 第 4 号議案 専務理事報酬に関する件

臨時評議員会(12 月 10 日)

- 議案 借入実施の件

③常任理事会

第 1 回常任理事会(5 月 22 日)

- 第 1 号議案 2019 年度事業報告及び計算書類承認の件
- 第 2 号議案 寄付金の配賦に関する件
- 第 3 号議案 新型コロナウイルス関連の対応に関する件
- 第 4 号議案 5 号館大規模修繕計画の一部中止に関する件
- 第 5 号議案 テレワークに関する件
- 第 6 号議案 専務理事報酬に関する件
- 第 7 号議案 2020 年度第 1 回定時理事会及び定時評議員会の開催に関する件

第 2 回常任理事会(8 月 18 日)

- 第 1 号議案 中長期の財団運営に関する件
- 第 2 号議案 テレワークに関する件

第 3 回常任理事会(2 月 25 日)

- 第1号議案 2021年度事業計画及び予算に関する件
- 第2号議案 5号館(ベニンホフ記念館)改修に関する件
- 第3号議案 会計処理の修正に関する件
- 第4号議案 日本バプテスト同盟の施設使用料金に関する件
- 第5号議案 外部監査の変更に関する件
- 第6号議案 2020年度第2回定時理事会開催に関する件

④ワーキンググループ会議

- 第1回全体会議 9月17日
- 経営基盤検討会議 10月9日、12月2日、2月4日
- 事業検討会議 1月14日、2月18日

⑤職員会

原則毎月第1及び第3火曜日に開催

⑥マネージャー会議

原則毎月第2週を除く毎週に開催

■監査

- 監事監査 5月15日(決算)、3月30日(期中)
- 外部監査 4月2日(実査)、5月14日～15日(決算)、3月30日・4月16日(期中)

■月次会計報告

石橋税務会計事務所と毎月1回会計、財務の打ち合わせを行う。

■役員等人事

- 【理事長及び理事】 退任：鎌田薫(3月31日付)
- 【評議員】 就任：吉原洋(6月22日付)

■登記

評議員登記(7月22日付)

■行政庁(内閣府)諸届

- 2019年度事業報告等の提出(6月26日)
- 評議員変更届の提出(6月1日、8月19日)
- 2021年度事業計画書等の提出(3月26日)

■早稲田奉仕園賛助会員

2020年度は個人88名と1法人に加入いただいた。

■広報

奉仕園通信は79号(7月31日)、80号(2月20日)を発行、ホームページの更新及び「奉仕園スタッフのブログ」の掲載を随時おこなった。

■キリスト教施設長会議

新型コロナウイルス感染拡大のため中止した。

6. 新型コロナウイルス感染拡大に伴う措置

■事業への影響

各事業部報告に記載。

■5号館（ベニンホフ記念館）大規模改修工事

2021年度に延期した。

■職員勤務体制

常勤職員（正職員、限定正職員、契約職員）

3月	学校等臨時休校による特別有給休暇(該当職員のみ対象)開始
3月26日	緊急措置としてマネージャー以外在宅勤務とする
3月27日～	出勤勤務・在宅勤務ローテーションによる勤務開始
4月7日～	緊急事態宣言発令に伴い専務理事及びマネージャー以外の職員は原則在宅勤務とする。専務理事及びマネージャー1名が交代で出勤
5月10日～	5月10日から5月31日まで正職員は週2日の出勤勤務、3日の在宅勤務のローテーション勤務とする
6月1日～	正職員・限定正職員は通常の出勤勤務に戻る。契約職員は原則在宅、必要に応じて出勤勤務とする
1月6日～	部署ごとに調整し、在宅・出勤勤務を併用とする
3月22日～	通常の出勤勤務に戻る

パートタイム職員

3月	一部のパートタイム職員及び日時において自宅待機(休業手当対象)、学校等臨時休校による特別有給休暇開始
4月7日～	全パートタイム職員を自宅待機(休業手当対象)または学校等臨時休校による特別有給休暇とする
6月1日～	事業活動状況を見ながら出勤調整を実施

■助成金等の申請

- ・小学校休業等対応助成：有給休暇を取得した対象労働者に支払った賃金の助成
- ・雇用調整助成金及び緊急雇用安定化助成金：契約職員及びパート職員の休業手当の助成
- ・持続化給付金：事業収入減少への助成
- ・事業継続緊急対策(テレワーク)助成金：テレワーク環境整備への助成

■コロナウイルス感染予防・感染発生時の対応

2月27日	寮デスク感染症対応フロー作成 寮生への新型コロナウイルス感染症に対する注意喚起作成
3月5日	寮デスク感染症対応フロー改訂版作成 寮生への新型コロナウイルス感染症に対する注意喚起改訂版作成
4月24日	寮・学生にコロナ疑いがあった場合対応フロー改訂作成 スタッフまたは同居家族にコロナの疑いがあった場合対応フロー作成
2月19日	奉仕園内居住者1名に感染判明。待機部屋への移動、関係方面への連絡及び初期消毒を実施。感染拡大には至らず終息

■友愛学舎舎生への支援

友愛OBOG有志による現舎生支援のための募金活動が4月下旬より開始され、教材購入のための支援金、PCR検査費用、舎内感染防止対策用品の購入等にに使わせていただいている。このほか、消毒液、マスク、食料品等の寄贈をいただいた。

2020年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成していない。

2021年6月

公益財団法人 早稲田奉仕園